

第7章

未来（あす）を見つめたまちづくり

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
711	経営 企画 部	企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	引き続き、効果的な啓発が図れるよう取り組んでいく	R6年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう
			重要	自治事務		854千円	664千円		講演会等参加者数	人権尊重に関する施策への満足度 市民意識調査の設問「所沢市の施策への満足度」に対し、「満足」「まあまあ満足」と回答した人の割合		人権推進室では、人権全般の啓発を総合的に推進しており、施策への満足度を指標としている。				市主催の人権啓発研修会について、市の施策に幅広く人権尊重の視点を取り入れるため、人権に係る様々なテーマを研修において取り上げるとともに、外部講師だけではなく他部署の職員を講師として依頼した。	10 人や国の不平等をなくそう
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			今後の同和行政の基本方針	1,028千円		885千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
			人権啓発推進事業	人権意識の向上を図ることにより、市民一人ひとりの人権を擁護し、差別のない地域社会を築くことを目的とし、人権に関する企業及び職員向けの研修会の実施、「人権フェスティバル」の開催（入間郡市同和対策協議会）、人権啓発講演会の実施（人権啓発活動地方委託事業）、人権啓発物品の作成・配布等、さまざまな啓発事業を行っている。		0.62 人	会 年 職 員 等	0人	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
						5,010千円				R6目標	R6実績	近年、SNS等に係るインターネットによる人権侵害などの比較的新しい人権問題が注目されており、こうした課題が一般にも認識されつつある状況から、新たな人権問題に対する市の施策への満足度が低く、目標達成に至らなかったものと考えられる。					
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		52.0%	41.2%							
						0.77 人	会 年 職 員 等	0人									
						6,285千円											
期間	H12 ～										評価者	企業総務課長 細淵 健	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	様々な人権課題についての学習機会を提供することを通じて、人権尊重に関する意識の高揚を図った。		
711	経営 企画 部	企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを理解してもらうことが当該事業の目的となっているため。	R6年度に改善した点	1 貧困をなくそう
			重要	自治事務		447千円	436千円		①平和祈念式典参加人数 ②平和を語る会（回数・人数）	市の平和推進事業に理解いただけた人数の割合		戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを理解してもらうことが当該事業の目的となっているため。				市庁舎西側玄関に設置されている被爆敷石モニュメントについて、台座が破損していたため修繕を行った。	2 飢餓をゼロに
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市平和都市宣言（平成2年）	640千円		608千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
			平和推進事業	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民に理解してもらうため、公募した学生と平和祈念式典に参加する「広島平和祈念式典参加事業」や、市内小中学校を対象とした被爆体験者による「平和を語る会」、市役所及びまちづくりセンターで原爆のパネル写真を展示する、「平和祈念資料展」を行う。		0.31 人	会 年 職 員 等	0人	実績	100.0%	100.0%	R6目標値が未達成の理由・分析					
						2,505千円				R6目標	R6実績	目標達成済					
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		100.0%	100.0%							
						0.92 人	会 年 職 員 等	0人									
						7,509千円											
期間	S60 ～									評価者	企業総務課長 細淵 健	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	平和を守ることの重要性を伝える機会を通じ、参加者の意識を向上を図った。			
712	教育 総務 部	社会 教育 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	様々なテーマで研修・講座を実施し、意義のある内容で会ったが、令和6年度は理解度が目標に達しなかったため。	R6年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう
			重要	自治事務		740千円	575千円		①家庭教育学級人権教育合同講座受講者数 ②人権教育ブロック別研修会受講者数 ③人権教育指導者養成講座	講座・研修会参加者の理解度（％）		人権意識の向上に資するため、参加者アンケートの理解度を目標値とした。				グループワークのある講座を実施し、参加者が自ら人権問題を考える内容を取り入れた。	10 人や国の不平等をなくそう
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、社会教育法、所沢市人権教育推進協議会交付金交付要綱	784千円		685千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
			人権教育推進事業	差別や偏見のない地域社会づくりに寄与することを目的として、広く市民や社会教育関係団体、学校関係者に対する研修会の開催や啓発物の配布を通じて人権教育の推進する。		0.58 人	会 年 職 員 等	0.23人	実績	97.0%	97.2%	R6目標値が未達成の理由・分析					
						4,687千円				R6目標	R6実績	分かりやすい講座の実施に努めているが、一部の参加者には理解が難しかったため。					
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		95.0%	93.1%							
						0.75 人	会 年 職 員 等	0.15人									
						6,122千円											
期間	H15 ～									評価者	社会教育課長 奥井 祥三	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	思いやりのある人権尊重社会の実現のため、講座・研修会を開催し、人権教育の推進を図った。			
712	教育 総務 部	社会 教育 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	市内の外国人人口は増加しており、様々な国籍の人に対して日本語指導の他、日本語学習を通して生活や文化に関する支援を行っているため。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう
			重要	自治事務		100千円	105千円		①開催回数 ②講習会受講生数 ③日本語学習支援ボランティア養成講座受講生数	講習会受講生の人数（人）		多くの市内在住外国人に参加してもらいたいため、受講生の延べ人数を指標とする。				各受講生のレベルに合わせた講習を実施することにより、受講生が効率よく学習することができた。	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			社会教育法	150千円		111千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
			外国人のための日本語講習会開設事業	日本在住の外国人が生活する上で必要不可欠な日本語の学習の場を保障し、市民の国際交流・異文化理解を推進する事を目的とし、毎週月曜日に日本語講習会を市民のボランティアにより実施している。 また、日本語講習会の指導・支援ボランティアの確保と育成のための養成講座を開催し、これから活動を志す入門編と、技術向上を目指す実践編の研修を実施している。		0.34 人	会 年 職 員 等	0人	実績	900	524	R6目標値が未達成の理由・分析					
						2,748千円				R6目標	R6実績	目標達成済					
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		500	599							
						0.27 人	会 年 職 員 等	0人									
						2,204千円											
期間	H1 ～									評価者	社会教育課長 奥井 祥三	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	市内在住外国人が生活する上で必要不可欠な日本語を学ぶ場を提供した。			

113/127

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題		事業自体が貢献する項目
713	経営 企画 部	企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	B	目標達成に向けて、引き続き効果的な啓発が図れるよう取り組んでいく。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう			
			重要	自治事務		0千円	0千円	①情報提供回数 ②具体的に取り組んだ事業数（研修の開催等）	職員のユニバーサルデザインへの配慮度 ※職員アンケートでユニバーサルデザインに「配慮して業務に取り組んでいる」と答えた割合		行政サービスを提供する市職員がユニバーサルデザインに配慮し、業務に取り組んでいるかを重要視しているため。			職員アンケートを実施するとともに、 庁内広報誌を活用し、ユニバーサルデザインに配慮する事例をより分かりやすく例示するなどの周知を行った。	11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	ユニバーサルデザイン推進基本方針		R6予算現額	R6決算額（見込み）		R5目標	R5実績					R6目標値が未達成の理由・分析			
						0千円	0千円											
			ユニバーサルデザイン推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	75.0%	64.8%	R6目標値が未達成の理由・分析							
				誰もが参加しやすく、暮らしやすいまちづくりを進めるため、ユニバーサルデザイン推進基本方針を周知するための情報提供、新規採用職員への研修等、ユニバーサルデザインを推進するための事業を行っている。		0.04 人	会年職員等		0人	R6目標				R6実績				
			期間			H19 ～	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①2回 (職員アンケート実施時及び庁内広報誌により実施)	80.0%	63.6%			職員の意識付けが十分でなかったためと考えられる。				
				0.06 人			会年職員等	0人		②1回								
						490千円												
714	経営 企画 部	企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	A	DVの相談窓口が明確になったことで、必要とする方に情報が届きやすくなったほか、関係部署・関係機関と連携しやすくなり、市のDV被害者支援が強化された。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			重要	自治事務		6,816千円	6,371千円	①相談実人数 ②相談件数 ③一時保護件数	DV庁内連携会議をはじめとする庁内会議・研修の開催回数		DV被害者支援には関係機関との連携が必要不可欠であることから体制構築のための連携会議を行う必要がある。			配偶者暴力相談支援センター相談員全員が年3回以上の研修に参加し、スキルの向上と支援の情報収集、関係機関との連携強化に努めた。	5 ジェンダー平等を実現しよう			
			根拠法令	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律		R6予算現額	R6決算額（見込み）		R5目標	R5実績					R6目標値が未達成の理由・分析			
						12,747千円	11,744千円											
			配偶者暴力相談支援センター事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	年1回以上開催	年1回以上開催 R5.7.26(水)開催	目標達成済							
				重大な人権問題である、配偶者等からの暴力（DV）被害者に対して、DVによって命や生活の安全を脅かされる状況を解消し、社会の中で自立して生活していけるよう、必要な支援を行う。		2.08 人	会年職員等		3人	R6目標				R6実績				
			期間			R4 ～	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①178人 ②777件 ③3件	年1回以上開催	年1回以上開催 R6.7.26(金)開催			目標達成済				
				1.91 人			会年職員等	3人										
						15,589千円												
714	経営 企画 部	男女 共同 参画 推進 セン ター ふら っと	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	A	今後においても、男女共同参画への意識を高められるよう、SUNの発行・配布を行っていく。	R6年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう			
			重要	自治事務		360千円	284千円	男女共同参画情報誌「SUN」発行	男女共同参画情報誌「SUN」発行		近隣の男女共同参画関連施設、所沢市男女共同参画審議会委員、所沢市男女共同参画苦情処理専門委員、市内の事業者、公共施設等に配布することを考慮して、各5,000部配布している。			今まで取り上げていない内容について特集を組むなど新たな挑戦をしたが、あまり難しい内容ではなく、誰もが分かりやすく読んでもらえるように、工夫した。				
			根拠法令	男女共同参画社会基本法、所沢市男女共同参画推進条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）		R5目標	R5実績					R6目標値が未達成の理由・分析			
						339千円	334千円											
			男女共同参画啓発・普及事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	年2回各5,000部	年2回各5,000部	目標達成済							
				誰もが自分らしくのびやかに生きられる男女共同参画の実現に向けて、男女共同参画への関心を高め、性別による固定的役割分担意識の改善を図ることを目的とする。 主な内容として、男女共同参画情報誌「SUN」（年2回発行 各5,000部 関係機関並びに公共施設・学校等に配布）を発行する。		0.62 人	会年職員等		0人	R6目標				R6実績				
			期間			S56 ～	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	年2回各5,000部	年2回各5,000部	年2回各5,000部			目標達成済				
				0.89 人			会年職員等	0.1人										
						7,264千円												
714	経営 企画 部	男女 共同 参画 推進 セン ター ふら っと	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	B	目標値には到達していないが、ふらっとの会議室等の利用を必要としている団体が数多く存在しているので、今後もふらっとの周知に励む。	R6年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう			
			重要	自治事務		10,071千円	8,860千円	①会議室使用者数 ②複写機・印刷使用者数 ③図書・ビデオ利用者数	会議室等の稼働率（会議室・研修室・生活工房室の月別稼働率の平均）		ふらっとの事業目的の一部である男女共同参画に係る「学習」や「交流」の場を提供することの成果を測るため、会議室等の稼働率を指標とする。			新規の利用団体が増えるように、ふらっとの周知に関する広報活動に励んだ。				
			根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）		R5目標	R5実績					R6目標値が未達成の理由・分析			
						10,709千円	9,877千円											
			男女共同参画推進センターふらっと運営事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	45.0%	32.2%	男女共同参画推進センターふらっとの知名度が、低いことが挙げられる。							
				男女共同参画に係る「学習」・「相談」・「交流」・「情報」の場を提供するとともに、できるだけ多くの方に男女共同参画への理解と意識の向上を図ることを目的とし、施設（会議室・研修室・生活工房室）、印刷機、男女共同参画に関する図書・DVDの貸出を行う。		0.65 人	会年職員等		0.8人	R6目標				R6実績				
			期間			H7 ～	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①16,497人 ②138人 ③149人	45.0%	30.0%			男女共同参画推進センターふらっとの知名度が、低いことが挙げられる。				
				0.65 人			会年職員等	1.4人										
						5,305千円												

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果			総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)			
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標		評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
714	経営 企画 部	男女 共同 参画 推進 セン ター ふら っと	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	S	電話相談の相談件数が昨年度より著しく増加しており、女性の生き方に関する相談が、相談者にとって重要な役割を果たしていることから、相談事業は必要不可欠である。	R6年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう			
			重要	自治事務		3,910千円	3,779千円		①電話相談件数 ②カウンセリング相談件数 ③何でも聞きます相談件数	年間相談件数		悩んでいる人への対応件数を相談事業の成果と捉え、相談件数を指標とする。			相談事業の掲載しているパンフレットや情報誌を積極的に各所に配布した。				
			女性の生き方に関する相談事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）												
				所沢市男女共同参画推進条例、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律		3,905千円	3,810千円												
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
				電話相談、カウンセリング、何でもききます相談の実施。 男女共同参画社会の実現のために、その障害となる悩みや問題を解決するための援助事業を行う。		0.37 人	会年職員等	0.6人	実績	750件	1,262件	目標達成済				市の配偶者暴力相談支援センターをはじめ、市民相談課、こども相談センター、こころの健康支援室などの相談所管部署及び関係機関と必要に応じて連携し、市民に寄り添った相談を続けていきたい。	関係部署、関係機関と連携しながら、相談対応を行い、悩みを抱える人の支援を行った。		
						2,990千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		R6目標	R6実績								
						0.30 人				0.2人	750件							1,440件	
			期間	0.30 人		会年職員等	0.2人	①1,124件 ②225件 ③91件							評価者				
H7 ～	2,449千円																		
714	経営 企画 部	男女 共同 参画 推進 セン ター ふら っと	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	B	デートDV防止講座を実施する中学校の数により、年間の講座参加数に影響が出る。しかし、デートDV防止講座以外の講座にも1人でも多く参加するように周知に努めた。	R6年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう			
			重要	自治事務		372千円	295千円		講座参加者数	講座定員数における参加者数の割合		男女共同参画に関する理解や意識向上を図ることを目的に講座を開催するため、参加率を指標とする。			集客の難しい講座に関して、周知に工夫した。				
			ふらっと企画講座実施事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）												
				所沢市男女共同参画推進条例		371千円	250千円												
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			R5目標	R5実績				R6目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
				多くの市民等に向けて男女共同参画への理解と意識の向上を図るため、男女共同参画に係る講座・研修・講演会などの開催を行う。		0.62 人	会年職員等	0.6人	実績	90.0%	95.5%	デートDV防止講座は、1校実施される場合に中学生約200人の参加が見込まれる。令和5年度は3校の参加があったが、令和6年度は2校に減少した。 また、講座実施に当たっては、第4次男女共同参画計画に位置付けられた基本目標から内容を検討し実施しているが、集客の難しい講座があったため。				講座参加者のアンケートを参考に、今後講座の周知に力を入れていく。	男女共同参画に係る様々な講座やイベント等を行うことにより、市民に対する意識啓発を行った。		
						5,010千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		R6目標	R6実績								
						0.60 人				0.3人	90.0%							79.4%	
			期間	0.60 人		会年職員等	0.3人	1,430人							評価者				
H7 ～	4,897千円																		
721	秘書 室	秘書 室	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	B	・令和2年度 中止 ・令和3年度 市民体育館（飲食無し） ミュージズ（飲食無し） コロナ禍により、令和2年度は中止、令和3・4年度は飲食無しで開催したが、5年度から飲食を復活させた。 コロナ前の水準を割り込む状況が続いているが、盛大に開催することができ、参加者の満足度も高かった。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			最優先	自治事務		960千円	588千円		①新春のつどい開催 ②「所沢市新春のつどい」開催連絡会開催	参加申込者数		参加者同士の交流を深め情報交換を行うことが目的となっていることから、参加申込者数を指標とする。			周知については各団体等にご案内の郵送と広報ところざわが主であったが、ほっとメールやFacebook、チラシなどあらゆるツールを使い、周知に注力した。				
			新春のつどい開催事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）												
				「所沢市新春のつどい」開催連絡会規約		2,184千円	1,441千円												
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			R5目標	R5実績				R6目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
				本事業は、新年の門出に当たり、市民をはじめとする参加者及び参加団体の方々と直接意見交換を行い、また参加者同士の交流を深め情報交換を行う貴重な機会として、毎年1月に開催するものである。		0.70 人	会年職員等	0人	実績	900人	868人	物価高の中、参加費3,000円が負担になっていることや行事自体の周知についても、まだまだ浸透していないということが未達成の理由と考えられる。				事業の目的を鑑みると、より多くの参加者に出席していただくことが望ましい。また、飲食は参加費から捻出していることから、ご満足いただける料理等を提供するためにも、多くの方の参加が欠かせない。	多くの地域、団体等の方と交流することで、住み続けられるような地域づくりに貢献している。		
						5,657千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		R6目標	R6実績								
						0.80 人				0人	900人							804人	
			期間	0.80 人		会年職員等	0人	①新春のつどい開催 令和7年1月8日 ②「所沢市新春のつどい」開催連絡会3回開催 ・令和6年8月1日 ・令和6年10月7日 ・令和7年2月14日							評価者	秘書室長 松崎 清吾			
H21 ～	6,530千円																		
721	秘書 室	秘書 室	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	B	目標値には達していないものの、厳粛に遺漏なく挙行することができた。地域づくり推進課所管の感謝状贈呈式と同時開催したことにより、規模が大きくなり華やかな式典になるとともに、丁寧な案内ができた。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も			
			重要	自治事務		985千円	818千円		①被表彰者数 ②表彰式出席者数	表彰式出席率 (表彰式出席者数÷被表彰者数×100)		感謝の意を表す行事であるため、多くの方に出席いただくことが望ましい。			被表彰者へのアンケート回答に基づき、令和4年度から試験的に日曜午前中に実施しており、令和6年度も同様に午前中に開催した。				
			所沢市表彰事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）												
				所沢市表彰規則		1,415千円	1,396千円												
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			R5目標	R5実績				R6目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
				政治、経済、福祉、文化、スポーツ等、様々な分野で市勢の振興に寄与する市民活動を促進するため、活動の顕著であった方々を表彰する。		0.75 人	会年職員等	0人	実績	75.0%	49.3%	仕事や用事等により欠席する被表彰者が一定数いることから、目標値を満たさなかった。				出席者に負担をかけることなく喜んでいただける式典にするため、円滑な進行が求められる。	物品購入の際に、オープンカウンター方式を実施した。被表彰者の各活動の促進や郷土愛の増進に寄与した。		
						6,061千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		R6目標	R6実績								
						0.75 人				0人	75.0%							52.0%	
			期間	0.75 人		会年職員等	0人	①107人（人・団体） ②56人（人・団体）							評価者				
S45 ～	6,122千円																		

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)		
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
721	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	自治基本条例推進委員会を開催し、市民参加や情報の公開・共有の状況を踏まえ、条例のさらなる推進に向けた検討を進めた。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		252千円	165千円	①自治基本条例推進委員会の開催回数 ②パブリックコメント手続の実施件数（全庁）	自治基本条例の推進 (条例の運用状況の調査・検討の実施)	自治基本条例推進委員会の開催により、条例の適用状況の調査・検討を進め、条例の実効性が確保されているか。		パブリックコメント手続の運用方法の見直しを行うなど、市民の市政への参加と市民との協働のまちづくりを推進させた。			11 住み続けられるまちづくりを					
			根拠法令	所沢市自治基本条例、市民参加を進めるための条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）			R5目標	R5実績				R6目標値が未達成の理由・分析					
						406千円	383千円													
			所沢市自治基本条例推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			実績	推進				推進	目標達成済				
						0.28 人	会年職員等	0人												
						2,263千円		R6目標	R6実績											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①3回	推進			推進								
期間	市民等・市議会・市が議題を共有し、連携・協力しながら市民自治によるまちづくりを推進していくことを目的とする。具体的な取組内容としては、所沢市自治基本条例推進委員会を設置し、条例の適切な運用を図り、市民参加や情報公開の在り方について検討を行う。	0.54 人	会年職員等	0人	②11件					全庁的な取組が必要となるため、その方策等を検討していく。	パブリックコメント手続の実施等自治基本条例の適正な運用を図り、市民自治の実現による市民福祉の増進に貢献した。									
H18 ～	4,407千円																			
721	市民 部	市民 相談 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	目標は未達成であったが、相談件数は前年度を上回っており、市民の困りごと解決に寄与したため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			重要	自治事務		21,311千円	20,696千円	①1日当たりの相談件数	年間相談件数	市民からの相談について幅広く対応しつつ、内容に応じて相談に至る前に適切な外部の相談先を紹介していることから、相談事業として受けるのに適した年間の件数を目標設定としている。					相談予約者の氏名確認を円滑に行うため、予約表に読み仮名を記入した（これまでは漢字表記のみ）。					
			根拠法令	所沢市市民相談員設置要綱・所沢市市民相談実施要領		R6予算現額	R6決算額（見込み）	②1件当たりのコスト(会計年度職員報酬＋職員手当等＋相談報償)		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析								
						22,884千円	22,717千円	③弁護士一人当たりの休日特設相談件数												
			市民相談事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	3500件	3044件	市民からの問い合わせに対して、市民の求める内容や方向性を良く聞くことで、所管部署に繋いだり、助言等の相談ではなく解決のために弁護士等を委任したい場合には適切な外部機関を紹介するなどして、相談以前での適切な案内に努めたため。 また、相続や近隣トラブル等に関する民法改正の影響により、相談を希望する市民は多くいたが、そのことで予約制の相談が2週間～1ヶ月先まで埋まる傾向にあり、当課の相談ではなく外部相談を案内する機会が多かったため。	R6目標			R6実績	市民の生活上の悩みごとや困りごとについて相談を受け、助言等を行った。				
						1.97 人	会年職員等										3人	①13.0件	3500件	3215件
						15,920千円											②6562.8円			
						期間	生活上生じる様々な問題について市民からの相談に対し適切な助言等を行い、自主的な解決を促進して住民の福祉向上に寄与することを目的とする。 電話及び面接方式による相談を以下（①～⑧）のとおり実施している。なお、②③④の専門相談については、予約制としている。 ①一般相談②弁護士相談③税理士相談④司法書士相談⑤行政書士相談⑥人権相談⑦行政相談⑧外国人生活相談										1.71 人	会年職員等	3人	③5.67件
S47 ～	13,957千円																			
721	選挙 管理 委員会 事務局	選挙 管理 委員会 事務局	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	・小中高生を対象とした啓発活動参加校数は目標を達成した。 ・明るい選挙啓発ポスターコンクールの応募作品数も前年比増の、1,138作品の応募があり、県内最多の応募作品数となった。	R6年度に改善した点	16 平和と公正をすべての人に				
			優先	自治事務		1,277千円	514千円	①18歳バースデーカード送付数 ②啓発ポスター作品応募校数 ③学校向け選挙機材貸出件数 ④出前講座実施回数	小中高生を対象とした啓発活動参加延べ校数（出前講座の開催、投票箱等の貸出及びポスターコンクールの応募校の合計）	特に若い世代に関心を持ってもらうため、参加型の啓発として、出前講座や模擬投票の実施を行うとともに、ポスターコンクールへの応募校を募った。より一層の啓発を図るため参加校数の増加を目指す。					明るい選挙啓発ポスターコンクールの募集を開始する時期の校長会において、小中学生への主権者教育の一環として、ポスターコンクールや出前講座、投票箱の貸出等について周知をした。					
			根拠法令	公職選挙法		R6予算現額	R6決算額（見込み）	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析										
						1,546千円	1,227千円													
			明るい選挙啓発事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	32校	33校	目標達成済									
						0.56 人	会年職員等								0人	①2,899通 ②29校	R6目標	R6実績		
						4,525千円									35校				40校	
						期間	市民が選挙制度を正しく理解して政治や選挙に関心を持ち、自らが進んで投票に参加して選挙が適正に行われるよう、市と所沢市明るい選挙推進協議会が一体となり啓発活動に取り組んでいる。 常時啓発として、明るい選挙啓発ポスターコンクールを開催している。選挙時啓発としては、選挙のお知らせの全戸配布により選挙の周知や寄附行為禁止等のルールの周知、ポスターやガラスシートの掲示、広報車や防災無線による放送を行っている。 また、若年層への啓発として、満18歳になった市民へのバースデーカードの送付、成人のつどいにおいて啓発物資を配布するなどの事業を実施している。								1.40 人	会年職員等	0人	③10件 ④1件		
S31 ～	11,427千円																			
722	経営 企画 部	広報 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	視・聴覚障害者用広報の配布を希望する視覚障害者へ送付したため。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう				
			優先	自治事務		814千円	786千円	①点字版配布件数 ②音声版配布件数	視・聴覚障害者用広報配布件数	市政情報を必要とする障害のある方へ伝えることを目的としていることから、視・聴覚者用広報配布件数を指標とする。					視・覚障害者用広報を市ホームページで公開する際に、音声と音声のつながりが聞き取りやすいように改善した。					
			根拠法令	障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律、所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）			R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析								
						910千円	892千円													
			視・聴覚障害のある方にも優しい市政情報発信事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	-	-	目標達成済									
						0.19 人	会年職員等								0人	R6目標	R6実績			
						1,535千円									①9件			45件	45件	
						期間	本事業は、広報ところざわについて、点字や音声でも市政情報をお伝えし、視覚や聴覚に障害のある方も含め、誰もが同一内容の情報を同一時点で取得できるようにするもの。								0.13 人	会年職員等	0人	②36件		
～	1,061千円																			

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
722	経営 企画 部	広報 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	広報紙の読者感想での評価はおおむね良好だが、市民意識調査「市の情報発信に対する満足度」評価は目標値を下回ったため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		39,770千円	38,893千円	①広報紙発行部数 ②広報紙配布部数 ③デジタルブックの総アクセス件数	市民意識調査「市の情報発信に対する満足度」 市の広報媒体から必要な情報が得られていると「感じる」と答えた人の割合	R5目標 R5実績 R6目標値が未達成の理由・分析		毎月の広報紙発行を通じて、関心の高い情報や社会情勢に応じた市政情報を選定し、分かりやすい情報発信に努めた。			5 ジェンダー平等を実現しよう			
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	46,998千円		44,454千円												
			広報紙発行事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	69.0%	56.6%	市民の情報収集を行う媒体の変化により、広報紙の充実だけでは必要な情報を届けられていないと推測する。その他媒体も上手く連動・活用して、情報提供をしていく必要がある。				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	16 平和と公正をすべての人に		
				市政情報等を的確かつ適切な時期に市民等に分かりやすくお知らせするため、毎月1回1日に広報紙を発行している。特集や連載コーナーなども企画し、積極的に読者に役立つ情報の発信に努めている。配布は、委託により市内全世帯・事業所に戸別配布している。 ・タブロイド判16ページ・年12回発行併せて、視覚障害者用広報を発行		2.64人	会 年 職 員 等										0人	
						21,334千円	R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合	R6目標
						R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合		①2,118,350部 ②2,076,203部 ③11,548件
			期間	2.44人		会 年 職 員 等	0人											
S27 ～	19,915千円																	
722	経営 企画 部	広報 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		S	コンテンツの評価の数値が、令和5年度と比べて上昇し、目標値を超えた高い数値を維持しているため。	R6年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう	
			重要	自治事務		7,479千円	6,890千円	①総アクセス件数 ②公開コンテンツ数	ホームページのコンテンツ評価機能において、ページ内容が「役に立った」「見つけやすかった」と答えた人の割合	R5目標 R5実績 R6目標値が未達成の理由・分析		コンテンツ作成上のルール（「※」は「注記・注釈」と掲載など）が徹底されるよう、システム上の設定を見直すことで、アクセシビリティの向上に努めた。 また、市ホームページにおけるイベント情報の発信について、チラデジの活用や周知も始めた。	11住み続けられるまちづくりを					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	7,048千円		7,039千円												
			ホームページ運用事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	75.0%	78.5%	目標達成済		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
				行政サービスの向上を目的として、ホームページを積極的に活用し、本市の情報や魅力を市内外に発信する。担当課が直接コンテンツを作成・更新できるシステムを使って、事務の迅速化・効率化を図っている。		0.84人	会 年 職 員 等										0人	
						6,788千円	R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合	R6目標
						R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合		①33,268,673件 ②9,147件
			期間	0.88人		会 年 職 員 等	0人											
H8 ～	7,183千円																	
722	経営 企画 部	広報 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		B	ほっとメールとLINEでの受信設定者数を合計すると、38,481人と成果指標の目標値は超過しており、多くの方に情報を届けることができているため。	R6年度に改善した点	11住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		3,496千円	3,496千円	①配信件数	利用登録者数（登録メールアドレス件数）	過去の登録者数の増加実績を踏まえ、年間2,000人の増加を目指すものである。		読みやすさを向上させるため、記載ルールの周知徹底を図った。						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	702千円		702千円												
			メール配信事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	31,000人	30,209人	LINEでも同じ情報を受け取れるようシステムの改修を行ったため、メールではなく、LINEでの受信を希望する方がいることが原因と考えている。 ほっとメールとLINEでの受信設定者数を合計すると、38,481人となり、成果指標の目標値は超過している。		R6目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
				メール配信システム（ASPサービス）を利用し、利用登録者に対して市政情報（21カテゴリ）を配信する。 ・X（旧Twitter）と自動連携して同内容を配信している。 ・市ホームページからも配信内容を見ることができる。		0.41人	会 年 職 員 等											0人
						3,313千円	R6正規職員人件費											R6その他職員従事割合
						R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合	①2,036件	
			期間	0.39人		会 年 職 員 等	0人											
H20 ～	3,183千円																	
722	経営 企画 部	広報 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		A	令和5年度以降に市公式YouTubeへ新規で公開された動画については、手話又は字幕が表示されるようにしている。引き続き、手話や字幕に充実に努めていく。	R6年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう	
			-	自治事務		2,077千円	1,963千円	①字幕挿入本数 ②手話挿入本数	令和6年度以降に作成した手話又は字幕の挿入割合	聴覚に障害のある方も、動画で発信される情報を取得できることを目的としていることから、音声以外の手話や字幕による表示が挿入されている動画の割合を指標とする。		毎月開催している市長タウンミーティング「市長冒頭説明」への字幕挿入を開始した。						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律、所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例	2,790千円		2,752千円												
			公式動画 手話・字幕充実事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	目標達成済		R6目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
				本事業は、市が公式動画として一般に広く公開する動画に対し、手話表示や字幕表示を設定する作業を行い、聴覚に障害のある人も含め、誰もが同一内容の情報を同一時点で取得できるようにするもの。		0.30人	会 年 職 員 等											1人
						2,424千円	R6正規職員人件費											R6その他職員従事割合
						R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合	①21本 ②1本	
			期間	0.26人		会 年 職 員 等	1人											
R5 ～	2,122千円																	
													市公式動画において、視・聴覚障害のある方も情報が得られるようにして、平等や公正の実現に向けて取り組んだ。					

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど		SDGsへの貢献 (最大3つ)	
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
722	市民部	市民相談課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	公開された会議の割合について、目標値に達した。会議を「原則公開」として市政運営や施策形成における透明性を高めるという目的も推進できている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		45千円	35千円	①開催された会議の件数	公開された会議の割合（公開された会議の件数／（開催された会議の件数-公開されなかった会議のうち7条2号（個人情報）を理由とした会議の件数）×100）		公開された会議の割合が増えることで、市政運営や施策形成における透明性が高まると考える。公開された会議の割合が80%前後で推移していることから、それを上回る85%を目標とした。						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）		②公開されなかった会議のうち7条2号（個人情報）を理由とした会議の件数									
				所沢市情報公開条例、所沢市の会議の公開に関する指針、所沢市会議録作成要領		44千円	37千円						③公開された会議（一部非公開を含む）の件数				
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析					
			市政において重要な役割を果たしている各種の審議会等の会議を原則として公開することにより、市政運営や施策形成における透明性を高めることを目的とする。 内容としては、会議開催前に開催のお知らせを公表し、会議開催後は、会議開催結果、配布資料、会議録を市政情報センターに配架し、閲覧に供している。（会議録は市ホームページで公開している。）			0.54人	会年職員等	0人	実績	85.0%	80.0%	目標達成済					
						4,364千円			R6目標	R6実績							
				R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合		①616件	85.0%	87.7%							
			期間	0.33人		会年職員等	0人	②502件									
			H13 ～	2,693千円			③100件										
722	市民部	市民相談課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	令和4～5年度に比べ実績値が減少した要因には、ところざわいきものカードの頒布数（令和4年度103部の売上、令和5年度39部の売上、令和6年度30部の売上）、文芸所沢の頒布数（令和4年度131部、令和5年度91部、令和6年度59部）が挙げられる。 また、都市計画図等については、当該図面の一部区域だけが必要である場合に、コピー対応できるようコピー機の近くに図面を配架する等して、市民が迅速かつ容易に、また安価に必要な情報を得られるようにしており、事業の目的は推進できている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		686千円	623千円	①有償頒布数	市政情報センターの行政資料利用数（有償頒布数－都市計画図等の図面有償頒布数＋行政資料貸出数）	市の保有情報を積極的に提供することが当該事業の目的となっているため「行政資料利用数」を指標とする。ただし、コピー利用を推進している図面有償頒布数は除く。令和6年度の目標数は過去5年平均数（約420件）を踏まえ、420件とした。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）		②都市計画図等の図面の有償頒布数								R5目標	
				所沢市情報公開の総合的推進に関する要綱、所沢市市政情報センター複写実費徴収金等取扱要綱		987千円	800千円		③行政資料貸出数								
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	485件	317件	目標数は、過去5年の平均数を上回るよう設定しているが、令和6年度は有償頒布数が例年を下回ったため、目標値には未達成となった。					
			市民が市政に関する正確でわかりやすい情報を迅速かつ容易に得られるようにすることを目的とする。 内容としては、各課で作成又は取得した行政資料を市政情報センターで配架し、閲覧、貸出、有償頒布するほか、提供された情報について一覧表を作成し、窓口や市ホームページで公表している。			0.66人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						5,333千円			420件	281件							
				期間		0.44人	会年職員等	0人	①318件								
			H7 ～	3,591千円			②56件										
			722	市民部		市民相談課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名			指標名	
重要	自治事務	846千円			634千円		①請求件数（請求数＋申出数）	公開請求に対する不服申し立て率（％）（不服申立て件数/請求件数（申出は含まない）×100		情報公開請求に対して適正な対応や決定等における丁寧な説明を行うことで、不服申立てが生じる可能性は低くなると考えられることから、指標とした。							
根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）			②対象公文書数		R5目標							R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
	所沢市情報公開条例、所沢市情報公開条例施行規則、所沢市情報公開の総合的推進に関する要綱				796千円			283千円		③公開文書数							
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		実績	0.0%		1.4%	公文書を部分公開決定した事案について不服申立てが3件あったため目標値には未達成となった。						
行政の透明化及び市民参加促進により公正・民主的に市政を推進することを目的とする。 内容としては、所沢市情報公開条例に定める公文書公開請求に基づき市の保有する公文書を公開する。 また、公文書の公開のほか、市政に関する正確でわかりやすい情報を市民が迅速かつ容易に得られるよう、情報公開の総合的な推進及び積極的な情報の提供に努める。		0.72人			会年職員等		0人	R6目標		R6実績							
		5,818千円						0.0%		1.6%							
	期間	0.72人			会年職員等		0人	①210件									
S63 ～	5,877千円				②1,427件												
723	市民部	市民相談課			実施計画ランク		事業の種別	一般会計		R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	
			重要	自治事務	119千円	86千円	①市長への手紙としての受理件数		市長回答に要する日数（回答にかかった総日数÷件数）	市民の意見・要望・提案に、迅速、丁寧、的確に対応するために、市長回答に要する日数を指標とする。							
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）		②陳情書としての受理件数							R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
				所沢市市政提案箱実施要領		121千円	117千円		実績	14日	28.8日						
				事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			R6目標	R6実績							
			多様化する市民の意見・要望・提案に迅速、的確に対応するとともに市政運営に活かしていくことを目的とする。 専用封書等の郵便、FAX、電話、窓口での申出、電子メール等様々な方法で寄せられる市長への手紙や陳情等による市民の意見・要望・提案を受け対応する。		1.00人	会年職員等	0人		①880件								
					8,081千円				14日					22.3日			
				期間	0.80人	会年職員等	0人		②18件								
			S43 ～	6,530千円													

118/127

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど		SDGsへの貢献 (最大3つ)		
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標		評価理由		現状の課題	事業自体が貢献する項目			
723	市民 部	市民 相談課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	昨年度に開催できず、延期することになった懇談会の開催を含めて目標を達成することができた。また、開催回数は増加したが、懇談会当日では詳細な回答が難しい質問は後日に回答するなどして、一件一件を丁寧に対応することができた。	R6年度に改善した点	1 貧困をなくそう	
			重要	自治事務		17千円	16千円	①開催回数	市政懇談会の開催回数		市政懇談会の開催に当たり、議会開会月を除くなどの調整をした上で可能な限り開催することを目 標設定の考え方としている。		R6目標値が未達成の理由・分析			R6目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市市政懇談会実施要領	17千円		14千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											R5目標	R5実績
			多様な意見や要望等を聞き、市民参加による開かれたまちづくりを積極的に推進することを目的とする。 各種団体等から要請を受け、市の施策や事業に関する意見、提案、要望等について意見交換を行う。	0.64 人		会年職員等	0人	実績	7回	6回	目標達成済							
				5,172千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①111回		R6目標		R6実績						
				R6正規職員人件費									R6その他職員従事割合			7回	11回	
				0.92 人									会年職員等			0人		
			7,509千円															
期間	S48 ～								評価者	市民相談課長 守谷 秀明	引き続き団体の意見や要望をないがしろにすることのないよう意向を確認した上で開催し、開かれたまちづくりの開催に努める。	どのように貢献したか						
731	総務 部	職員 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	マイセルフ研修必修コースのディバート研修、政策形成Ⅰの2科目については、毎年受講希望者が定員を大幅に超えている状況であることから、令和6年度は、ディバート研修の実施回数を2回に増やし、受講を希望する職員が希望するタイミングで受講できるよう努めた。ただ、それでも受講できない職員がいたため、引き続き受講機会の確保に努める必要がある。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			重要	自治事務		7,194千円	6,327千円	①研修の実施日数 ②修了者数（集合研修） ③修了者数（派遣研修）	職員の研修受講率		研修受講率の向上により、成長する職員が増加し、学習する組織風土の醸成にも繋がるものと考えため、研修の受講率を指標としている。		R5目標			R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			地方公務員法第39条	6,821千円		6,474千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											実績	
			市民のために創意工夫し自ら考え動き、また、組織にとって有用な人材を育成・支援することを目的に、「人材育成基本方針」、「職員研修計画」に則り、職員研修を実施する。 【研修体系】 キャリアステージ研修、マイセルフ研修、派遣研修ほか自己啓発支援など	1.90 人		会年職員等	0人	R6目標	R6実績	マイセルフ研修では、研修内容の都合上、受講できる人数に限りがあり、受講を希望する職員すべてが受講できないため。								
				15,354千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①250.5日 ②1,935人 ③96人	100%以上		93.2%							
				R6正規職員人件費								R6その他職員従事割合						
				1.97 人								会年職員等	0人					
			16,079千円															
期間	～								評価者	職員課長 清水 康雄	職員が、学びたい、学ばなければなら ないと思ったときに効果的な研修を受 講できるよう、現代的な課題に対応し た研修事業を企画実施する。 また、彩の国さいたま人づくり広域連 合、自治大学校、市町村アカデミーな ど外部研修機関が実施する研修も積極 的に活用するため、必要な情報提供を 行う。	どのように貢献したか						
732	総務 部	職員 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	R4年度に実施回数を増やし、目標通り実施できているが、精神保健福祉士の相談については、常に予約が取りづらい状況が続いている。相談者のこころの健康の保持・増進の一助となっている事業であり、今後も、職員への事業の周知と、相談しやすい環境の整備を継続していきたい。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			重要	自治事務		1,680千円	1,680千円	①実施回数 ②相談者数（延べ人数）	実施回数（月4回×12ヵ月）		職員が相談しやすい環境を整備しておく必要があることから、「こころの健康相談」の年間実施回数を指標としている。		R5目標			R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市こころの健康相談員設置要綱、こころの健康相談実施要領	1,680千円		1,680千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											実績	
			職員の心身の健康の保持・増進のため、精神科医1名及び精神保健福祉士2名に委嘱し、「こころの健康相談」を実施する（月4回）。相談を希望する場合には、職員課の保健師が予約の窓口となり、電話や専用のメール等で受付をしている。	0.24 人		会年職員等	0人	R6目標	R6実績	目標達成済								
				1,939千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①48回 ②111人	48回		48回							
				R6正規職員人件費								R6その他職員従事割合						
				0.15 人								会年職員等	0人					
			1,224千円															
期間	H12 ～								評価者	職員課長 清水 康雄	精神科医の相談枠は埋まりにくい現状がある。引き続き所属長を含めた職員への周知を継続していく。	どのように貢献したか						
732	総務 部	職員 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	受検率の向上は、職場環境を正しく把握するためにも必要である。受検しやすい環境を作り、改めてストレスチェックの目的や受検することのメリットを伝える等して、受検率向上に努める必要がある。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			重要	自治事務		770千円	510千円	①受検率 ②高ストレス者の割合	受検率（受検者数／対象者数）		ストレスチェックを受検し、その結果を見ることで、自身の状態を把握することができ、セルフケアにつなげることができることから、受検率を指標としている。		R5目標			R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			労働安全衛生法	1,016千円		707千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											実績	
			職員自身のストレスへの気付きを促し、セルフケアに取り組むことや、働きやすい職場づくりを進めることで、職員がメンタル不調となることを未然に防ぐ「一次予防」を目的とし、労働安全衛生法の規定に基づく心理的な負担の程度を把握するための検査（57項目）と、その結果に基づく面接指導を実施する。	0.47 人		会年職員等	0人	R6目標	R6実績	受検率低迷の理由として、職員が受検の意義を感じられていないこと、また個別通知を開封しておらず、受検の機会を逃している職員がいるのではないかと考えられる。								
				3,798千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①66.4% ②13.2%	80.0%		66.4%							
				R6正規職員人件費								R6その他職員従事割合						
				0.25 人								会年職員等	0人					
			2,041千円															
期間	H28 ～								評価者	職員課長 清水 康雄	回答だけでなく職員の中には、案内が入った封筒を開封しない職員が多いようなので、まずは開封し、制度を理解していただくため、封筒の表に、「必ず開封してください」と目立つように記載する。	どのように貢献したか						

119/127

計画 コード	所属 名称 (部局)	所属 名称 (所属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)				
						投入コスト		活動実績(R6)	成果指標		総合 評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
732	総務 部	職員 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	メンタル不調からの職場復帰の際に精神科産業医からの意見をいただけることは、適切な復帰判断のために大変有意義なことである。専門的な助言を得ながら、職場復帰支援の充実を図って行く必要がある。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			最優先	自治事務		-	-	①産業医面談を必要とする、または希望する職員数（延べ人数） ②産業医面談を受けた職員数（延べ人数）	産業医面談を受ける必要のある職員または希望する職員のうち、実際に産業医面談を受けた職員の割合	専門的な視点から助言を受けることが必要、または希望するメンタル不調者が、産業医面談を受けられる環境を整備しておく必要があることから、面談を受ける必要または希望がある職員が面談を受けた割合を指標としている。					R6年度新規事業	8 働きがいも経済成長も			
			根拠法令	労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則		R6予算現額	R6決算額（見込み）								R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
						600千円	600千円											R6目標値が未達成の理由・分析	
			事業の目的及び具体的な内容	非常勤特別職の産業医として精神科医を任用することにより、増加傾向にあるメンタル不調による病気休暇取得者の職場復帰等に際し、専門的な視点からの助言等を得て、円滑な職場復帰につなげることを目的として実施する。 ・病気休暇取得者等との面談 ・メンタル不調を原因とする分限処分（休職）からの復帰の際の意見書作成		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						-	会年職員等		-	-									
			期間	R6 ～		-	-	①12回 ②68人 ③17件（復帰時9件、継続8件）	R6目標	R6実績	目標達成済				評価者	産業医面談開始後も、復帰後に再度不調になる職員もいるため、復帰後のフォロー体制について産業医とも相談の上、検討していく。	精神科産業医から助言を受けることで、メンタル不調からの円滑な職場復帰につながった。		
						0.25人	会年職員等		0.025人	100.0%								100.0%	
			R6 ～			2,041千円	会年職員等	0.025人	100.0%	100.0%	目標達成済	職員課長 清水 康雄				どのように貢献したか			
						-	-												
741	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		B	100%という目標値に達してはしないが、90%以上の事務事業で、改善が図られている。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も		
			-	自治事務		140千円	69千円	①事務事業評価実施数 ②組織目標における目標達成に向けた重点事業項目数 ③公共事業評価委員会の実施回数	事務事業評価において、全事業の中で当該年度中に「改善した点」があった事業の割合	目的の達成に向けて現状の課題に対して、どの事業においても何らかの改善を行うよう促す。						「改善した点」が未記載の事務事業については、未記載である理由等の聞き取りを行うことで、各所属において事務事業の実施内容を振り返る機会を充実させた。			
			根拠法令	所沢市自治基本条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）											R5目標	R5実績
						95千円	0千円			R6目標値が未達成の理由・分析									
			事業の目的及び具体的な内容	事業の企画立案・予算化・実施・評価検証などの市政運営を所沢市マネジメントシステムの仕組みに沿って進めていくことで、より合理的かつ効果的に市政を進めていく。 具体的には、総合計画の実現に向けた実施計画の策定を行ったうえで、事務事業評価などにより評価検証し、当該事業のさらなる改善につなげていく。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析		評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
						0.19人	会年職員等		0人	100.0%								91.2%	
			期間	H25 ～		1,535千円	0人	①493事業 ②68項目 ③0回	R6目標	R6実績	「改善した点」が未記載の事務事業は、大半が目標を達成しているものであり、前年度に引き続き適切に事務を遂行したものであると推察される。		経営企画課長 齋藤 伸宏			事務事業評価において「改善した点」がない事業が存在することは課題である。各所属において主体的に事務事業の改善・見直しが図られるよう、評価手法も含めて継続的に改善していく。	評価を行うことで、事業に対する職員の意識改革を進めた。		
						0.45人	会年職員等		0人	100.0%								92.9%	
			H25 ～			3,673千円	0人		100.0%	92.9%	目標達成済								
						-	-												
741	こども 未来部	こども 政策課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		A	計画書に掲げる事業については順調に進んでおり、各事業の進捗状況の自己評価を子ども・子育て会議で報告し、承認をいただいた。 また、令和7年度から計画期間が始まる「所沢市こども計画」の策定に際し、子ども・子育て会議やアンケート等の意見を反映した。	R6年度に改善した点	1 貧困をなくそう		
			重要	自治事務		756千円	536千円	①子ども・子育て会議開催回数 ②出席委員数（延べ）	順調に進んでいる事業等の件数	計画書に掲げる主要な事業等（教育・保育と地域子ども・子育て支援事業、計18事業）について、事業が順調に進んでいるかどうかを把握するものの。						公式LINE「所沢市こども若者・情報チャンネル」に友だち追加した若者に、LINEを通じたアンケート調査を行う等、若者の意見を次期計画に反映した。	3 すべての人に健康と福祉を		
			根拠法令	こども基本法、所沢市子ども・子育て会議条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）											R5目標	R5実績
						970千円	664千円			R6目標値が未達成の理由・分析									
			事業の目的及び具体的な内容	すべてのこどもと若者が幸せに暮らしていけるよう、所沢市こども計画（令和6年度までは「所沢市子ども・子育て支援事業計画」）を策定し、定期的に計画の点検・評価・見直しを行うなど、社会情勢の動向に合わせて施策等の着実な実施を図ることを目的とする。 計画の策定・点検・見直しの際は、所沢市子ども・子育て会議委員の意見を参考にする等、多様な意見を反映するよう努める。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析		評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	16 平和と公正をすべての人に		
						1.29人	会年職員等		0人	18事業								18事業	
			期間	H27 ～		10,424千円	0人	①4回 ②53人	R6目標	R6実績	目標達成済		こども政策課長 中村 順史			計画の進捗管理には、多様な視点による点検・評価が必要である。会議において事業の進捗状況の報告等を行い、各委員からの意見等を参考にしながら、国や他自治体の動向にも注視し、計画の推進を図っていく。	計画策定や進捗管理において、適切な情報開示や丁寧な説明を行ったことにより、「16.6有効で説明責任のある透明性の高い公共機関の発展」に貢献した。		
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		18事業	18事業									
			H27 ～			1.00人	会年職員等		100.0%	100.0%	目標達成済								
						8,162千円	0人												
741	上下 水道局	経営 課	実施計画ランク	事業の種別	企業 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		A	計画改定に向けて現況と課題を整理し、令和5年度の決算値を踏まえた投資・財政シミュレーションを実施し、それを基に、経営計画改定案及び水道料金の水準・体系の改定案を作成することができた。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に		
			最優先	自治事務		-	-	①投資・財政シミュレーションの実施 ②審議会の開催回数	所沢市水道事業経営計画の改定	令和7年度の改定に向けて、投資・財政シミュレーションを実施し、計画期間内の収支状況を予測し、適切な見直しを行うことで、最適な事業運営の実現を目指す。						専門的な知識を有する委託事業者に助言を得ながら、実績値の反映や物価高騰等の社会情勢の変化等について、投資・財政シミュレーションへ適切に反映するように努めた。	11 住み続けられるまちづくりを		
			根拠法令	-		R6予算現額	R6決算額（見込み）											R5目標	R5実績
						0千円	0千円			R6目標値が未達成の理由・分析									
			事業の目的及び具体的な内容	国（総務省）は、水道事業を営む全ての地方公営企業に対して、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」（本市における「経営計画」に相当）の策定並びに3年から5年以内の見直し及び改定を要請している。 本事業は、令和2年度に策定した所沢市水道事業経営計画（計画期間は、令和3年度から令和12年度）について、令和7年度に改定を行うものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析		評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
						-	会年職員等		-	-									
			期間	R6 ～ R7		-	-	①完了 ②6回	R6目標	R6実績	目標達成済		経営課長 中澤 宏和			経営計画改定案及び水道料金改定案について、上下水道事業運営審議会からの答申を得ることで、市民の意見を鑑みた計画となるように改定の実現に取り組む。	経営計画を作成することで、将来にわたる安全・安心な水道の提供の持続を図る。		
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		投資・財政シミュレーションの実施	投資・財政シミュレーションの実施									
			R6 ～ R7			0.89人	会年職員等	0人	100.0%	100.0%	目標達成済								
						7,264千円	会年職員等												
R6 ～ R7			-	-															

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費		成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)		
						投入コスト		活動実績(R6)		成果指標			評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
741	上 下 水 道 局	下 水 道 整 備 課	実施計画ランク	事業の種別	企 業 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	A	目標を達成しており、成果を あげていると考えている。令和 7年度の内水浸水想定区域図 の作成、令和8年度の雨水管理 総合計画の策定に向けて、事 業を計画通り進める。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			最優先	自治事務		-	-	①事業の進捗率	事業完了に向けた各年度の進捗率	事業の進捗状況を確認することで目標達成の成果が把握できるので、進捗率を指標とする。	令和6年度より基礎調査やシナリオ設定等の事業に着手した。			11 住み続けられるまちづくりを				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）	R5目標							R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	13 気候変動に具体的な対策を		
			下水道法、都市計画法、水防法	25,586千円		23,100千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績							-	-		R6目標値が未達成の理由・分析	
			市街化区域における下水道（雨水）による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定め、その浸水対策を計画的に進めるため、雨水管理総合計画を策定し、浸水被害の軽減を図る。	-		会年職員等		-	R6目標	R6実績								
				-		-		25.0%			25.0%							
				期間		0.40 人		会年職員等	0人	①25%						目標達成済		
				R6 ～ R8		3,265千円												
				741		教 育 総 務 部	文 化 財 保 護 課	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額			R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠
優先	自治事務	4,006千円			2,103千円			①協議会の開催回数	協議会の開催回数		実効性のある計画作成には協議会や市民からの意見聴取が必要であるため、外部委員等により組織した協議会の開催回数を指標とした。	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	市民ワークショップを開催して地域計画への市民理解を深めるとともに、課題・方針・措置に関する市民意向の情報を収集した。	11 住み続けられるまちづくりを		
根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）	R5目標		R5実績													
文化財保護法	9,113千円	5,289千円																
事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績		1回											1回	R6目標値が未達成の理由・分析	
行政・市民・団体など地域総がかりで所沢市の歴史文化を後世に継承していくため、本市における文化財の保存と活用に関する総合的な計画となる「所沢市文化財保存活用地域計画」を作成する。	0.95 人	会年職員等						1人	R6目標		R6実績							
	7,677千円	-						-				3回	3回					
	期間	1.15 人						会年職員等	0.2人		①3回	②50%	目標達成済					
	R5 ～ R8	9,293千円																
	742	経 営 企 画 部	経 営 企 画 課		実施計画ランク			事業の種別	一 般 会 計		R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	A	有識者による研修会、先進地視察等を通じて、市職員の能力や意欲と高め、課題への対応力の向上につながった。
				重要	自治事務	1,000千円	519千円	①講師依頼件数 ②先進地視察件数 ③研修会参加件数		あすを見つめる政策研究事業の推進	課題解決のための有識者からの助言や支援、先進地視察等への参加を通じて、市職員の能力や意欲を高め、課題への対応力を磨くことを目的としているため、各所属に同事業を活用してもらうため、推進を指標とした。	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	「政策研究研修会」と「未来（あす）を見つめ、今を動く」政策形成事業の事務を一本化することで、事務の効率化を図った。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
根拠法令				R6予算現額	R6決算額（見込み）	R5目標	R5実績											
-				2,300千円	657千円													
事業の目的及び具体的な内容				R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	推進											
有識者や専門家からアドバイスをいただくとともに、先進都市視察や研修会等への派遣を通じて、市職員の能力や意欲を高め、課題への対応力を磨くことを目的とする。				0.18 人	会年職員等			0人		R6目標	R6実績							
				1,455千円	-			-				推進	推進					
				期間	0.15 人			会年職員等		0人	①2件 ②6件 ③4件		目標達成済					
				H6 ～	1,224千円													
				742	経 営 企 画 部	経 営 企 画 課	実施計画ランク	事業の種別		一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		
	最優先	自治事務	-				-	①「中核市移行に関する調査報告書」 ②「中核市移行に関する基本方針」 ③埼玉県への「中核市移行に向けた協力要請」	中核市移行準備事業の推進		令和12年4月の移行を目的としているため、移行に向けた準備等、事業の推進を指標とした。	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）	R5目標				R5実績											
地方自治法	69千円	11千円																
事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績				-								-	R6目標値が未達成の理由・分析		
中核市移行に向けて、中核市移行準備に係る庁内体制（政策会議・中核市移行準備調整会議・中核市移行準備プロジェクトチーム）において政策判断を行うにあたり、必要な調査及び研究をすることを目的とする。 令和6年度は、必要な準備や課題を把握するために先行自治体への視察を通じて移行に向けた事務の進め方を整理するとともに、「中核市移行に関する調査報告書」をまとめ、移行目標を令和12年4月と定め、また、「中核市移行に関する基本方針」を策定した上で、埼玉県に協力要請を行った。	-	会年職員等						-	R6目標		R6実績							
	-	-						-				推進	推進					
	期間	1.54 人						会年職員等	0人		①6月14日公表 ②2月7日公表 ③3月28日実施		目標達成済					
	R6 ～ R12	12,569千円																

121/127

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標			総合 評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
742	健康 推進 部	保健 医療 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	土壌汚染対策法等に基づく整備予定地の地歴調査が完了し、土壌汚染のおそれがない旨を確認できた。 また、保健所設置基本計画の策定作業は、プロポーザルによる委託事業者の選定及び先行自治体視察や中核市アンケート調査等を実施し、素案の策定を進めた。 保健所設置検討委員会については、委員の選定、第1回会議の開催及び検討委員会への諮問まで実施しており、事業全体を通してスケジュールどおり進めることができたと考えられるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			最優先	自治事務		-	-			①整備予定地地歴調査 ②保健所設置基本計画策定		所沢市保健所整備に向けた進捗状況	所沢市保健所整備完了までの進捗管理を着実にを行うため、必要となる手続き等の進捗状況を目標とする。				
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		③保健所設置検討委員会開催								
				地域保健法		1,224千円	1,103千円		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			所沢市保健所整備事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		-	-	目標達成済				
				令和12年4月の中核市移行を目指し、市民の健康と衛生的な生活を包括的に支援するための拠点として、地域保健法に基づき設置が必要となる市独自の保健所整備を進めるものである。		-	会年職員等	-	①調査完了（土壌汚染のおそれなし） ②先行自治体調査、素案の約50%まで作成を推進 ③第1回会議を開催	R6目標	R6実績						
						-	会年職員等	0人		保健所設置検討委員会開催	保健所設置検討委員会開催						
						R6正規職員人件費				R6その他職員従事割合							
						期間				1.00 人	8,162千円						
R6 ～ R12																	
743	経営 企画 部	企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	出会いの場を求めている市民に、安心・安全な「SAITAMA出会いサポートセンター」を選択肢の一つとしていただくために、様々な形での周知を行っている。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			優先	自治事務		-	-			「SAITAMA出会いサポートセンター」における所沢市民の会員数		様々な民間のサービスが提供されている中、市内在住で結婚を希望する人が出会いの手段として、安心・安全な「SAITAMA出会いサポートセンター」を選択し、会員が年間で100人増加することを目標としている。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		R5目標		R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析				
				-		139千円	139千円		R6目標	R6実績							
			SAITAMA出会いサポートセンター利用支援事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		-	-	目標達成済				
				県が運営する「SAITAMA出会いサポートセンター」に市町村会員として参加することにより、所沢市で暮らし、働き、結婚を希望する人が結ばれ、充実した生活が送れるよう支援するもの。 独身男女に出会いの機会を提供する公的な結婚支援センターで、AIによるマッチングシステムを中心としたサービスを提供している。 自治体が会員となることで、市内在住の入会希望者の利用登録料が5,000円割引となる。		-	会年職員等	-	143人	R6目標	R6実績						
						-	会年職員等	0人		100人増加	143人増加						
						R6正規職員人件費				R6その他職員従事割合							
						期間				0.15 人	0千円						
R6 ～																	
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	成果創出期の事業については、文化芸術・教育分野を中心に株式会社KADOKAWAとの共同により概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			重要	自治事務		809千円	361千円		①CJF実務担当者会議開催回数		J R東所沢駅の乗降客数(1日平均)	構想の推進エリアとなる東所沢に人の流れを増やすという視点から、J R東所沢駅の1日平均の乗降客数を指標とした。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②成果創出期の進捗状況								
			-	290千円		228千円		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
			COOL JAPAN FOREST構想推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		15,000人	14,903人	-				
				株式会社KADOKAWAと協力して文化事業や企業誘致等、産官共同で事業展開を行い、構想に示した「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現を目指す。 成果創出期として、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを進める。		0.45 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						3,636千円	会年職員等	0人	15,000人	15,539人							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.57 人	0人							
H27 ～	4,652千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。 また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標（KPI）の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。		0.00 人	会年職員等	0人	R6目標	R6実績							
						0千円	会年職員等	0人	5	1							
						R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合								
						期間			0.00 人	0人							
H27 ～	0千円																
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗している。指標については未達成のものもあるが、各戦略方針についても概ね順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			-	自治事務		0千円	0千円		①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数		4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数（全6指標）	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標（KPI）」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。					
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）		②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数								
			まち・ひと・しごと創生法	0千円		0千円		③有識者等への進捗管理報告		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
			地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績		5	1	「30～40歳代の転出入均衡」以外の目標値に実績が追いつかず、達成率が伸び悩んでいる（6指標の達成率平均は81.7%）				
				「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開													

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)		
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題		事業自体が貢献する項目		
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種類別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	令和6年度は目標を達成することができた。引き続き、交流の活性化を目指し、取組を進めていく。	R6年度に改善した点		10 人や国の不平等をなくそう		
			重要	自治事務		731千円	697千円		①相互利用対象施設 ②活動専門部会数	市民相互交流者数 (圏域施設相互利用者数+交流事業参加)		公共施設の相互利用や圏域住民の交流を図ることが当該事業の目的となっていることから、圏域内の交流者数を指標とする。				R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）														
			-	731千円		726千円														
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合														
			期間	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の5市で組織する埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）について、構成市の連携・交流を深め、広域的な行政課題への取組みを推進する。 具体的な取組み内容としては、公共施設の相互利用や施設間のネットワーク化、交通網整備など、圏域住民の利便性や交流を図る。また、イベント等により構成5市の連携を促進する。		0.45 人	会 年 職 員 等	0人	実績	550,000人	545,578人		R6目標			R6実績		目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
						3,636千円			①85施設	550,000人	556,556人									
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		②8部会											
						0.46 人	会 年 職 員 等	0人												
			S63 ～	3,755千円														評価者	「第3次埼玉県地域まちづくり構想・計画」に基づいて、圏域のさらなる活性化に取り組む。	協議会として、将来を見据えた計画を策定しており、公共施設利用の公平性や圏域の魅力向上に貢献した。
経営企画課長 齋藤 伸宏																				
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種類別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	「楽しかった」「また参加したい」という声が多く、初めてのゲーム体験が楽しいものとして受け入れられた。また、世代間交流や地域住民の交流を促進する機会として、シニア層のeスポーツに対する意欲の高まりにつながった。	R6年度に改善した点		3 すべてのの人に健康と福祉を		
			最優先	自治事務		1,429千円	1,270千円		①eスポーツ体験イベント参加者数 ②eスポーツ関連行事開催数	eスポーツ体験イベント参加者が、アンケートで再度参加希望と回答した割合		自治体がeスポーツを活用するにあたり、継続性が重要であることから、継続して参加したいと考える参加者の割合を指標とする。				R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）														
			-	1,000千円		990千円														
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合														
			期間	近年、全国的に急速な広がりを見せているeスポーツについて周知啓発を行うとともに、市施策への活用を図っていくものである。なお、事業の推進においては、ところざわサクラタウンを拠点とする埼玉県eスポーツ連合やeスポーツプロチームを有する株式会社KADOKAWA等と連携を図っていく。		0.34 人	会 年 職 員 等	0	実績	80.0%	85.7%		R6目標			R6実績		普段ゲームに触れない60歳以上のシニア層を対象としたイベントであり、初めてゲームに触れる参加者が多かったため、目標値は未達成となったと考えられるものの、再度参加希望と回答した67.1%（57人）のほか、要検討・その他と回答した27.1%（23人）いたことから、工夫することで、シニア層へのeスポーツの普及の可能性は十分にある。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
						2,748千円			①延べ85名	90.0%	67.1%									
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		②5回											
						0.29 人	会 年 職 員 等	0												
			R5 ～ R7	2,367千円														評価者	eスポーツは世代を問わず楽しめることがわかった。対象者の幅を広げながら、継続してeスポーツに触れることのできる機会の創出が必要である。	「老後の趣味」「認知症予防」「若者との接点」という切り口で、高齢者の生活に新しい価値を提供することができた。
経営企画課長 齋藤 伸宏																				
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種類別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	外部団体との対面での打合せ回数は、令和5年度と比較して同程度の実績であったが、令和6年度の目標値をやや下回ったため。	R6年度に改善した点		8 働きがいも経済成長も		
			最優先	自治事務		861千円	349千円		①企業版ふるさと納税の寄附件数 ②企業版ふるさと納税の寄附金額	外部団体との対面打ち合わせ延べ回数		民間事業者や学校法人など、外部団体との対話の場をできるだけ設けることで、企業版ふるさと納税の受入れや事業連携に繋がることから、打ち合わせ回数を指標とした。				R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）														
			第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略、所沢市まち・ひと・しごと創生推進計画	1,107千円		941千円														
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合														
			期間	第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、将来的に目指すまちの姿として「魅力にあふれ、活力ある経済活動の中で安心して暮らせるまち」を掲げ、公民連携の重要性を謳っている。こうした中、近年、社会的に企業のCSR（社会貢献）活動が目立られ、多くの民間事業者が地域貢献に積極的に取り組んでいる。本事業は、こうした風潮を好機ととらえ、公共で行う様々な事業に民間事業者からの支援をより効果的かつ効率的につなぐことを目的とするものである。		1.11 人	会 年 職 員 等	0人	実績	72回	99回		R6目標			R6実績		電話やメールでの対話の割合が増えており、対面での打ち合わせ回数は横ばいであった。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
						8,970千円			①16件	108回	93回									
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		②19,725,243円（物納含む）											
						1.17 人	会 年 職 員 等	0人												
			R5 ～	9,550千円														評価者	公民連携を推進すべく、さらに公民連携プラットフォームを周知していく。	民間事業者と連携しながらまちづくりを進めた。
経営企画課長 齋藤 伸宏																				
743	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種類別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	様々なコンテンツを実施することにより、年代・性別問わず、幅広い層の参加が実現し、所沢市の良さを複合的に伝えることができた。	R6年度に改善した点		17 パートナースhipで目標を達成しよう		
			最優先	自治事務		-	-		①協力団体数 ②コンテンツ数	当日の参加者数		市民が新たな文化に触れる機会を創出していくため、当日の参加者数を指標とする。				R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）														
			-	1,500千円		1,500千円														
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合														
			期間	本事業は、COOL JAPAN FOREST構想をさらに推進するため、市民が新たな文化に触れる機会を創出するとともに、「みどり・文化・産業が調和した地域づくり」への機運の醸成を促すイベント事業を実施するものである。 【主な取組】 ・所沢の伝統文化を体感できるワークショップ ・戦国滝の城まつり/武者行列 ・重松流祭ばやし披露 ・所沢にゆかりのある小物のフォトブース ・所沢名産品の試食ブース		-	会 年 職 員 等	-	実績	-	-		R6目標			R6実績		目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
						-			①9団体	500人	約690人									
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		②9											
						0.26 人	会 年 職 員 等	0人												
			R6 ～	2,122千円														評価者	年々、武蔵野回廊文化祭＝コスプレイベントのイメージが強まっている傾向にあり、地域の方々にも足を運んでいただけるようなブランディングを強化したい。	市内の様々な団体に協力いただくことで、団体のPRの場を創出するとともに、参加者には所沢の良さを複合的に伝えることができた。
経営企画課長 齋藤 伸宏																				

123/127

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
744	経営 企画 部	広報 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	LINEでの受信設定登録者数を増加し、市の情報を多くの方に届けることができたため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			-	自治事務		2,794千円	2,794千円		①LINEでの受信設定者数	LINEでの受信設定者数		これまでほっとメールで発信していた市の情報をより多くの方が受け取れることを目的にLINEとの連携をしており、LINEでの受信設定者数を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析			どのよう に貢献したか		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	1,452千円		1,452千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												
			市民向けメール配信システム改修事業（LINE連携）	本事業は、幅広い世代で利用されている所沢市公式LINEアカウントを市政情報の発信に活用するため、市民向けメール配信システムを改修し、LINEでも情報を受け取れるようにするものである。		0.35人	会年職員等	0人	実績	前年度比増加	6,975人	目標達成済	友だち登録だけではなく、受信設定をしてもらえるように、チラシの配架やメッセージの送信を行う。			登録したカテゴリに沿った必要な市の情報を速やかに発信した。		
						2,828千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		前年度比増加	8,897人								
						0.33人	会年職員等	0人										
						2,693千円												
期間								評価者										
R5 ～						広報課長 板垣 昭彦												
744	経営 企画 部	デジタル 戦略 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	担当者によるサポートや操作研修会の開催により、目標としている活用所属数を達成し、業務削減時間も増加したため。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			最優先	自治事務		9,098千円	8,871千円		①導入ツール ②活用所属数（全所属で利用できるツールを除く） ③削減効果時間（算出可能なもの）	AI等技術の活用所属数（全所属で利用できるツールを除く）		AI等を積極的に活用できる所属・人材を増やし、DX推進の基盤を作っていく必要があるため、活用所属数を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析			どのよう に貢献したか		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	9,821千円		9,766千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												
			AI等技術推進事業	AI・RPA等の技術を活用し、事務効率を向上させ、職員が「職員でなければ遂行できない業務」に時間を振り向けることができるようにする。		0.60人	会年職員等	0人	実績	15	11	目標達成済	活用所属数を拡大していく。			AI等を活用し、業務効率を向上させた。		
						4,849千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①AI-OCR、RPA、AI音声テキスト化、生成AI	15	16							
						0.57人	会年職員等	0人										
						4,652千円												
期間								評価者										
R3 ～						デジタル戦略課長 堤 健太郎												
744	総務 部	文書 行政 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	当初の予定通り開発を終え、運用開始までに必要な例規や運用ルールの改正等整備を終了することができた。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			-	自治事務		0千円	0千円		①開発工程の実施 ②例規・運用ルールの整備	システム開発進捗度合い		開発事業者の選定、設計、開発、テストの工程を完了し、システム導入を完了させることを目指すことから、進捗度合いを指標として測る。	-			12 つくる責任 つかう責任		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	47,175千円		47,175千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												
			文書管理システム導入事業	文書管理システムを導入し、紙媒体で行っている文書の收受、起案、決裁、保存、廃棄等を電子データで行うことにより、文書の適正管理や内部事務の効率化等を更に推進する。また、システム導入により創出される時間等を有効活用することで、所沢市DX推進基本方針の重点テーマの一つである「行政サービス力UP」の実現を目指す。		0.49人	会年職員等	0人	実績	25.0%	25.0%	-	-			16 平和と公正をすべての人に		
						3,960千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①開発完了	100.0%	100.0%							
						1.00人	会年職員等	0人										
						8,162千円												
期間								評価者										
R5 ～ R6						文書行政課長 萩原 達雄												
744	健康 推進 部	健康 管理 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	令和6年度中に、業務要件定義、データ移行要件定義、ガバメントクラウド環境構築を行うことができた。	R6年度に改善した点	3 すべてのの人に健康と福祉を	
			-	自治事務		15,103千円	14,683千円		①業務要件定義 ②データ移行要件定義 ③ガバメントクラウド環境構築	業務要件定義、データ移行要件定義、ガバメントクラウド環境構築。		令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行を行う。	新システムの構築作業について、随時見直しを行うことができた。			どのよう に貢献したか		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			地方公共団体情報システムの標準化に関する法律	121,678千円		73,916千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												
			情報システム標準化対応事業（健康管理システム分）	「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。本事業は、標準化対象業務のうち、健康管理システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。		0.54人	会年職員等	0人	実績	100.0%	100.0%	目標達成済	令和7年度中の本稼働に向け、移行テスト、運用テスト、本稼働切り替えリハーサルを行う。			妊婦、新生児から高齢者に至るまで、すべての市民の健康を守るためのシステムづくりを進めた。		
						4,364千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①業務要件定義の実施	100.0%	100.0%							
						0.80人	会年職員等	0人										
						6,530千円												
期間								評価者										
R5 ～						健康管理課長 一色 義直												

124/127

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
744	学校 教育部	教育 セン ター	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	ホームページの内容が定期的に更新されているため、目標を達成できたといえる。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			-	自治事務		4, 535千円	4, 535千円	①平均アクセス数 ②平均投稿数 ③月1回以上の更新	定期的な更新(月に1回以上)	学校だより等、定期的な便りの掲載状況	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			学習指導要領	3, 043千円		3, 043千円											
			ホームページ作成システム導入事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	100. 0%	100. 0%	R6目標値が未達成の理由・分析					
				【目的】 全校共通のホームページシステムにより、学校における持続可能な情報発信と、市民へのアクセシビリティの保証を実現する。 【内容】 全校共通のクラウド版のホームページ作成システムを導入する。		0. 92 人	会年職員等	0人									
						7, 435千円											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						①1校平均145件/日			100. 0%	100. 0%
			期間	0. 58 人		会年職員等	0人	②1校平均19件/月									
R5 ～	4, 734千円			③100%													
745	市民 部	市民 相談 課	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	個人情報開示請求は年間50～100件程度で推移している中、6年度は不服申立は生じていないため目標は達成された。不服申立から審査に至る手続については、適正な対応ができていると考える。 また、関係業務を担当する職員に対しては、外部講師による個人情報保護制度に関する研修のほか内部講師による研修を併せて実施するなどして、知識の習得と意識の向上を図っている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		846千円	634千円	①保有個人情報開示請求等 ②個人情報ファイル簿掲載数	開示請求に対する不服申立て率（％） （不服申立て件数／請求件数×100）	令和5年度に1件の開示請求に対する不服申立てが生じたが、開示決定時における丁寧な説明等に努めることにより、開示請求に対する不服申立てを発生しないことを目標とするため、0. 0%を指標とした。	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			個人情報の保護に関する法律、所沢市個人情報に関する法律施行条例、所沢市個人情報に関する法律施行細則、所沢市情報公開・個人情報保護審査会条例、所沢市情報公開・個人情報保護審査会条例等	796千円		283千円											
			個人情報保護制度推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	1. 5%	1. 7%	R6目標値が未達成の理由・分析					
				市の保有する個人情報の適正な取扱を図り、個人の権利や利益の保護と公正で信頼される市政の推進を目的とする。 内容としては、保有個人情報開示請求等の相談と受付、個人情報の取扱状況の把握及び出前講座や研修を通じて、市民や職員への個人情報保護制度の周知を図っている。		1. 07 人	会年職員等	0人									
						8, 647千円											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						①74件			0. 0%	0. 0%
			期間	1. 25 人		会年職員等	0人	②141件									
H13 ～	10, 203千円																
745	市民 部	市民 課	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	本カードの保有率については目標値を達成できていないため、市民へカードの利便性などを周知し、今後も保有率の向上に努めていく。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			最優先	法定受託事務		134, 980千円	103, 955千円	マイナンバーカード保有枚数	マイナンバーカード保有率	国のほぼ全国民がマイナンバーカードを保有するという想定に基づき、目標値を設定している。	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			番号法、住民基本台帳法	175, 909千円		122, 064千円											
			マイナンバーカード交付事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	100. 0%	70. 3%	R6目標値が未達成の理由・分析					
				デジタル社会を実現するためのツールとなるマイナンバーカードを、希望する市民に対し交付する。 国はほぼ全国民の本カードの保有を想定しているため、申請サポート事業等を行い交付促進を図っている。		6. 58 人	会年職員等	37人									
						53, 173千円											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						260, 071枚			100. 0%	75. 7%
			期間	6. 97 人		会年職員等	37人										
H27 ～	56, 889千円																
752	財務 部	収税 課	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計 及 び 特 別 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業目的とする、定例業務の効率化ならびに滞納整理担当職員の確保・増強という点において、一定の効果があったものと考えている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			優先	法定受託事務		50, 590千円	50, 589千円	①口座振替関連補助業務処理件数 ②収納管理関連業務処理件数 ③滞納整理関連業務処理件数	担当件数（市税・国民健康保険税） ※担当件数＝滞納整理処分対象件数／滞納整理担当職員数	当該事業は、定例業務の委託化・滞納整理担当職員の確保を通じて、きめ細やかな滞納整理の推進および市民対応を目的とする事業である。このため、職員1人あたりが担当する件数を指標とし、目標値としては、前年より減らすことを目標としたい。	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			地方税法、国税徴収法、国民健康保険法、所沢市税条例、所沢市国民健康保険税条例	60, 522千円		60, 522千円											
			市税収納管理等委託事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	1000件/人	978. 2件/人	R6目標値が未達成の理由・分析					
				（目的）定例業務の委託化に伴う滞納整理担当職員の確保と、収入額の増加及び収納率の向上。 （具体的な内容） ①収納情報の消込業務及び還付充当処理 ②口座情報の登録及び廃止業務 ③滞納整理に付随する調査業務 ④上記業務に付随する事務処理		1. 75 人	会年職員等	0人									
						14, 142千円											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						①1, 047, 148件			1000件/人	943. 6件/人
			期間	0. 90 人		会年職員等	0人	②425, 827件									
H30 ～	7, 346千円			③4, 211件													

125/127

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)		
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標			総合 評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
754	経営 企画 部	経営 企画 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づく複合化の実施時期に到達していないため、総面積の目標値には達していない。今後も、「公共施設の総量適正化」に向けて計画的なマネジメントを実施していく。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		1,198千円	1,198千円	①公共施設マネジメント会議や全庁的な調整会議の回数 ②日常点検の実施	公共施設の総面積		公共施設等総合管理計画に掲げる「公共施設の総量適正化」の状況を測るため、公共施設（インフラを除く）の総面積を指標とする。		公共施設マネジメントシステムのデータ及び機能を整理し、短期予防保全の効率化と「公共施設の総量適正化」に向けた状況の把握に努めた。また、複数の事業者との意見交換を行い、今後の事業の進め方についての検討を行った。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			インフラ長寿命化基本計画、所沢市公共施設等総合管理計画、所沢市公共施設長寿命化計画	1,251千円		1,251千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合										R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			公共施設マネジメント推進事業	公共施設等の総合的かつ計画的な管理を進める。		0.79 人	会年職員等	0人	実績	715,675.08㎡以下	718,207.62㎡	「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づく施設の複合化により公共施設の総面積の縮減を図っていく予定であるが、施設の複合化の実施時期に到達しておらず、達成できていない。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか		
						6,384千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			①4件	715,675.08㎡以下						720,026.05㎡	
						0.47 人	会年職員等	0人		②実施（395件）								
			期間	3,836千円								評価者	「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づく長寿命化改修に向けた調整を進めていく。			公共建築物の修繕を財政負担の平準化を図りながら計画的に進めた。		
H23 ～	経営企画課長 齋藤 伸宏																	
754	財務 部	管財 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	通年における節電の取り組みにより、環境負荷の削減に努めた。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
			優先	自治事務		258,403千円	257,698千円	①公共料金の支払料金（電気・ガス・上下水道・電話） ②電力使用量	庁舎年間電力使用量の削減 平成２２年度と比較した年間電力使用量削減率（２２年度年間電力使用量 3,029,809kWh）		夏期期間における空調運転はガス、電気による併用運転を行いながら、電力使用量の削減を行った。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
			所沢市庁舎管理規則	258,135千円		257,940千円										R5目標		R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合										実績	5.0%	18.2%
			本事業は、庁舎の効率的かつ効果的な運用を行うことで、安全かつ快適な施設の運用を図るものである。	2.33 人		会年職員等	1	R6目標	R6実績	「ところざわ未来電力」を通じて環境にやさしい電力の利用で二酸化炭素排出量の削減に大きく貢献した。								
				18,829千円				5.0%	18.7%									
				R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合												
				0.97 人		会年職員等	1											
			期間	7,917千円								評価者						
S61 ～	管財課長 吉田 孝之																	
754	財務 部	管財 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	老朽化の度合いを考慮しつつ、予算の範囲内で効率的修繕・工事を実施した。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
			優先	自治事務		24,408千円	24,402千円	①計画修繕件数	市庁舎設備の修繕を行い、性能を維持する。		市庁舎設備の修繕を計画的に実施したことにより、機能及び性能を維持した。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
			-	24,195千円		24,195千円										R5目標		R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合										実績	40件	34件
			本事業は、市庁舎施設の老朽化に伴う設備の不具合箇所等を改善し、建物・空調・機械・電気・衛生設備等の設備性能を維持改善することにより、来庁者や職員の安全確保、快適性や執務環境を維持するため、市庁舎の修繕を行うものである。	0.63 人		会年職員等		R6目標	R6実績	「環境配慮事項等伝達書」に基づき、再資源資材の活用や安心安全な労働環境の促進に務めた								
				5,091千円				14件	14件									
				R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合												
				0.98 人		会年職員等	①14件											
			期間	7,999千円								評価者						
S63 ～	管財課長 吉田 孝之																	
754	財務 部	管財 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	3か年で計画している工事のうち令和6年度に予定していた工事が完了した。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
			最優先	自治事務		-	-	①進捗状況	3か年工事における工事の進捗率 令和6年度に予定している工事の進捗状況及び進捗率		令和6年度が初年度のため改善点なし							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
			所沢市公共施設長寿命化計画	527,129千円		178,860千円										R5目標		R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合										実績	-	-
			本事業は、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて、施設の長寿命化を図るため、対象設備の改修を行うものである。あわせて、一部設備について、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）に則した設備へと改修を行う。	0千円		会年職員等		R6目標	R6実績	「環境配慮事項等伝達書」に基づき、再資源資材の活用や安心安全な労働環境の促進に務めた								
				R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合		2.4%	2.4%									
				0.63 人		会年職員等	①庁内調整会議、仮設工事（トイレ、フェンス）、工事前現場調査											
				5,142千円														
			期間									評価者						
R6 ～ R8	課長 吉田孝之																	

126/127

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)	
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
754	こども未来部	保育幼稚園課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	西所沢保育園を安心して利用できるよう、空調設備改修事業費を速やかに予算化し、令和6年度に契約、改修工事の実施に至り、計画通り順調に工事が進んでいるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			-	自治事務		0千円	0千円	①調査・設計(R5) ②契約(R6) ③改修工事(R6・R7)	事業の進捗率	本事業は、施設の空調設備等を令和5・6・7年度の継続事業で実施するものであるため、それぞれの年度での進捗管理が重要であることから事業の進捗率を指標とする								
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	77,000千円		23,800千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		
			西所沢保育園空調設備改修事業	「目的」 保育園施設の安全を確保し、かつ適切な保育環境を維持する 「内容」 平成21年に導入した西所沢保育園の空調設備は老朽化が進むとともに、一部の部品の故障により、空調の出力が低下していること、また、既に部品供給が終了し修理が不可能な状況であることから、機器の更新を行う。		0.00 人	会年職員等	0人	実績	10.0%	10.0%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
						0千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	70.0%	70.0%	①調査・設計(R5) ②契約(R6) ③改修工事(R6)						施設の利用制限を最小限に留め、工事期間中における園児、保護者、職員等の安全に十分配慮し、速やかに工事を完了をする。	どのように貢献したか	
						0.39 人	会年職員等	1人										
3,183千円																		
期間	R5 ～ R7							評価者	保育幼稚園課長 東 和秀		西所沢保育園で安心して保育ができる環境を維持し続けられるようにした。							
754	建設部	営繕課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成した。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		0千円	0千円	①予防保全計画に基づく工事予定件数 ②予防保全計画に基づく工事実施件数	目標達成済み	対象施設の築年数や修繕後の経過年数及び老朽度、市の財政状況を勘案し、関係各課と協議を行い、目標を設定する。								
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			建築基準法	0千円		0千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		
			公共施設長寿命化計画に基づく予防保全計画推進事業	建築物については、建築後30年を経過すると急激に劣化が進行するとされており、所沢市の公共建築物においても築後30年を経過するものが増加していくことを踏まえ、建築物の劣化が進行する前の予防保全に取り組むため平成18年度に「所沢市公共建築物修繕計画」を策定し、その後令和3年度には「所沢市公共施設長寿命化計画」に内容を継承し「予防保全計画」として統合された。この予防保全計画により、建築物の修繕を計画的に進行管理し、単年度に修繕工事が集中する事態を避けて財政負担を平準化するとともに、既存建築物の延命化を図り有効活用していく。		2.55 人	会年職員等	0人	実績	12件	12件	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
						20,607千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①14件	14件	14件	②14件					所沢市公共施設長寿命化計画に統合されたことで、施設の統廃合や長寿命化改修（大規模改修）の予定も勘案した計画策定が必要となっていく。このため、これまで以上に経営企画課や施設所管課との協議、連絡を密に取っていく。	公共建築物の修繕を財政負担の平準化を図りながら計画的に進めた。	
						2.95 人	会年職員等	0人										
24,078千円																		
期間	H18 ～							評価者	営繕課長 中嶋 睦夫									
754	教育総務部	教育施設課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	令和5年度に基本設計をまとめたが、実施設計にあたり、改修内容や工事期間の見直しなどにより、営繕課や学校への連絡調整を行った。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			最優先	自治事務		75,000千円	52,360千円	①基本設計実施件数 ②実施設計実施件数 ③改修工事実施件数	基本設計実施件数	所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、基本設計及び実施設計の実施件数を指標とする。								
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	12,500千円		12,500千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		
			学校施設長寿命化改修事業（公共施設マネジメント推進事業の一環）	建築後40年以上を経過し、経年により老朽化が進む小中学校について、児童生徒の安全確保及び学校環境の充実を図るとともに、所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、建築後80年以上使用することを目的として、長寿命化改修を実施するものである。		1.55 人	会年職員等	0人	実績	3校	3校	目標達成済	所沢市立安松小学校長寿命化改修工事の実施設計業務委託の入札が不調となり、再度入札をしたことで契約締結の時期が予定より遅れ、令和7年度へ繰越明許したため。			今後も継続する長寿命化改修事業であるが、他の事業との優先度などを勘案し、老朽化が進む公共施設の全体的な検討が必要である。	施設の修繕や改修工事により、学校環境の向上に貢献する。	
						12,526千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①3校	1校	0校	②0校 ③0校							
						2.10 人	会年職員等	0人										
17,140千円																		
期間	R5 ～							評価者	教育施設課長 市村 浩昭									
754	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	大きな遅れや問題もなく、計画通りに進めることができた。令和7年度についても、安全に十分配慮しながら工事の完成に向けて努めていく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			最優先	自治事務		-	-	①工事進捗率	工事進捗率	本事業は「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づく短期予防保全計画により計画的に改修等を行い、施設の安全上適正な管理を図るもので、令和6年度、7年度の2カ年の継続事業であり、予定通り令和7年度未までに、無事に工事を完了することを目指すものである。								
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市公共施設長寿命化計画	294,360千円		105,500千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合			R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
			所沢市民武道館屋根改修及び空調設備改修事業	施設の老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づく短期予防保全計画により計画的に改修等を行い、施設の安全上適正な管理を図るものである。本工事は令和6年度・令和7年度の2カ年の継続事業である。令和6年度は、仮囲い設置、機械設備等撤去、屋根葺き等を行った。		-	会年職員等	-	実績	-	-	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
						-				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①58%	58.0%	58.0%	②58%						令和7年度についても工事計画に従って引き続き工事を進め、年度末までに工事を完了させる。	施設利用者の余暇活動、健康増進に寄与した。
						0.25 人	会年職員等	0										
2,020千円																		
期間	R6 ～ R7							評価者	スポーツ振興課長 波多野 健一									

127/127